

編 集 後 記

☆ 11月の広島全国図書館大会に間に合わせるべく、第1号を刊行し、引きつづいて、1月末当館で開く「全国公共図書館参考事務研究集会」を目指し、強行軍の甲斐あって、漕ぎつけることができました。原稿の大半が、予め出揃っていたという好条件もあった。

☆ 本号は、部外・館外よりの寄稿を得て、単なる部内雑誌でない面を示すことができたが、「書誌」を欠いたのは残念であった。

☆ 創刊号の反響はまだ聞くことができない。研究集会の際には、大いに聞かせて頂けるものと期待している。編集事務局（一般参考課の伊藤松彦、朝倉治彦、土井稔子）に遠慮のない意見をおよせ頂きたい。

☆ 三号の計画は、別掲の如く、ワーク・ショップ特輯の予定でいる。上野図書館時代からの閲覧者である、下鳥正憲氏の玉稿も頂戴できることになったので、これを期に、利用者の当館蔵書に関する研究論文を飾っていきたいと考えている。

☆ 年度内に、地方史誌目録の書目篇を刊行するが、本号には、一般参考課在課中に責任担当していた因縁で、沢西氏に執筆して貰った。長年月に渡っての多くの方々の努力を、ここで感謝したい。

☆ 当館刊行物の再版は、従来考えられないところであったが、「旧幕引継書目録」既刊分を、すみや書房から出版することとなった。これは日本マイクロの企画とは関係ないが、マイクロ版の活用にも、この細目は必携のものであろう。

☆ 11月20日、一般参考課の有志は、都立日比谷図書館へ見学に行き、今後、奉仕部門の協力態勢確立のための検討を実行にうつすことを約し、12月10日第1回の会合を行ない、文書レファレンスの知識交換を行なった。
(朝倉)

参考書誌研究 第2号 昭和46年1月20日発行

編 集 国立国会図書館参考書誌部

発 行 国立国会図書館

東京都千代田区永田町1の10の1(郵 100)

電 話 581—2331(代)

印 刷 株式会社 文 唱 堂